



平成19年5月7日

国土交通省道路局長殿

滋賀県虎姫町長 山内健次



中期的な計画の作成にあたっての私の意見

貴職におかれては、平素より積極的に国土発展に向けての道路整備にご尽力いただいております事に感謝を致します。

さて、道路特定財源の見直しについて、昨年より拙速な議論がなされ12月には閣議決定をされました。また、今年3月末には道路整備の中期計画の作成に着手され、その計画の作成にあたって意見を述べよとのことであるが、そもそも今日まで国道、県道を問わず、社会資本整備の一環として幾つかの新規道路創設、既存路線整備を要望、陳情してきました。その結果、一定理解を頂き一部路線の整備は進んだが、まだまだ多くの事業が未着工であります。

今日までの幾つかの要望経緯を振り返ると、局、県においては事業の必要性なり緊急性は認めつつも優先順位なり予算的事情等を理由に長期間、先送りされて来た経緯があります。その様な中でも、地域においては喫緊の課題ある整備事業を今日まで待ってきた理由のひとつに道路整備に向けての「道路特定財源」がしっかり担保されている安心感と、昨今のモータリゼーションなり人間優先と言えどもまだまだ進んでいない歩道空間を捉えて、必ず近い時期に整備されるであろうと確信をしていたからであります。

今回の改革の推進に向けて基本方針はもっともな事項を示しておられると理解をするが湖北地域においてはまだまだ道路整備は不十分であり、道路政策の基本方針は良しとしても、道路特定財源の歳出を上回る税収を一般財源とすることは承服しかねます。

もし、財源が有るとするならば、是非、集中的に滋賀県、特に湖北地域にその財源を回して頂きたく切望します。一口に道路と言っても様々であり、其々の地域の実情なり環境に違いがある事を承知いただき、今回の中期的な計画の作成にあたって湖北地域の生活道路、基幹道路の整備を真に必要な道路として明示していただきたく強く要望します。

尚、虎姫町として中期的な計画に是非取り上げていただきたい道路整備事業を下記に取り上げさせていただきましたので重ねてお願いいたします。

記

- 一、 県道丁野虎姫長浜線の早期開通
- 一、 県道東野虎姫線バイパスの早期着手
- 一、 国道八号線姉川大橋の早期架け替着工
- 一、 国道八号線バイパスの早期北進